

「マリ北部及び中部における国内避難民の緊急ニーズへの対応」 供与物資引渡し式典

2023 年 8 月 25 日（金）、国際移住機関（IOM）が主導する日本政府の補正予算事業「マリ北部及び中部における国内避難民の緊急ニーズへの対応」プロジェクトの一環として、モプチ、バンディアガラ、ドウエンザ地域の国内避難民と受入コミュニティに対する緊急シェルターキットと非食糧品の供与に係る式典が開催されました。

本プロジェクトは、日本からの 2022 年度補正予算における 45 万米ドル（約 6700 万円）の資金援助によって、国際移住機関（IOM）がマリ政府と協力してマリの人々のために実施する無償資金協力です。モプチ、バンディアガラ、ドウエンザといった地域の国内避難民と受け入れコミュニティに対し緊急シェルターキットと非食糧品を供与し、ガオ地域にはトイレと井戸を設置します。

本式典は、カスム・ケイタ保健・社会開発省社会開発局次長、パスカル・レンテンス IOM マリ事務所長、上藺英樹駐マリ日本大使が出席し、マリ保健・社会開発省社会開発局庁舎で開催されました。

本プロジェクトは、マリ北部及び中部における避難民の脆弱性を軽減し、受入コミュニティにおける生活環境を改善することで、国内避難民の緊急のニーズに応えることを目的としています。

